〔様式1〕

平成１９年度　事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	784-2711
平成１８年度部名	環境事業部	課名	津久井クリーンセンター	課長名	西川　七郎
平成１９年度部名	資源循環部	課名	津久井クリーンセンター	課長名	西川　七郎
事務事業名	し尿収集業務委託事業				
予算上の事務事業名	し尿収集業務経費				

1　総合計画における位置づけ		施策コード	21220
基本目標	Ⅱ「ゆとりある　みどり豊かな環境共生都市」をめざして		
政策名	第１章　人と自然にやさしい地域社会をつくります		
基本施策名	第２節　リサイクル型社会の構築		
施策名	第２施策　廃棄物の適正処理の推進		

2　実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
相模原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

3　個別計画の概要

				概要
計画名	相模原市一般廃棄物処理実施計画			当計画の中の「生活排水処理実施計画」に於いて、効率的で環境に配慮した収集・処理体制の推進をするもの。
計画年次	18	年度～	18	年度

4　事業形態の区分：サービス提供　　5　事業開始年度：平成18年度

6　事業概要

（１）事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）	（２）対象（誰、何）
快適で衛生的な市民生活環境保持のため、し尿の収集運搬業務を委託する。	汲み取り便槽･仮設トイレ設置者

（３）平成１８年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。

し尿収集運搬業務を地区割により業者６者に委託し、汲み取り式のトイレを設置している世帯や事業所および仮設トイレを設置した事業者などからの汲み取り申し込みを受け、委託業者に収集運搬を指示し実施させた。

汲み取り件数（定期収集＋臨時収集）　15,950 件
事業費　37,889 千円

7　関連事業・類似事業又は他市の状況

直営方式と委託方式があるが、県内各市の状況は委託方式が多い。

8　事業費の推移　〔単位：千円〕

年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
事業費	0	0	37,889	38,230	37,889
一般財源	0	0	37,889	38,230	37,889
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	0	0	45,939	46,280	45,939

9　事業効率・・・活動単位当たりの事業効率

事業名（主たる事業名）	し尿収集業務委託事業	対象名称と単位	汲み取り件数

年度	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	45,939	46,280	45,939
対象数	0	0	15,950	15,057	15,057
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	2,880	3,074	3,051
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.07	0.99

１０ 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの

指標名と単位	汲み取り件数	指標式と指標の説明	委託業者が行った汲み取り件数

	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
実　　績	0.0	0.0	15,950.0		
目　　標	0.0	0.0	15,950.0	15,057.0	15,057.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		

１１ 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの

指標名と単位	汲み取り１件当たりの単価（円）	指標式と指標の説明	委託料÷汲み取り件数

	平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度
実　　績	0.0	0.0	2375.0		
目　　標	0.0	0.0	2375.0	2539.0	2539.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		

１２ 個別評価

（１）妥当性の評価　〔A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない〕

A

- ☑ ・法令、条例により実施することが義務付けられている。
- ☑ ・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。
- ☑ ・公益性が高い、または必需性が高い事業である。
- ☑ ・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。
- ☑ ・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。

（２）有効性の評価　〔A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない〕

A

- ☑ ・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。
- ☑ ・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。
- ☑ ・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。
- ☑ ・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。

（３）効率性の評価　〔A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い〕

B

- ☑ ・単位あたりの経費は適正である。
- ☐ ・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。
- ☐ ・受益者負担や補助等の割合に問題はない。
- ☑ ・事業の実施方法や実施体制は適正である。

（４）民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕

- ☐ ・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。
- ☐ ・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。
- ☐ ・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。
- ☐ ・市で実施する方が民間委託等をするより適している。

１３ 総合評価（一次評価）

（１）自動判定結果

★★★

- 〔★★★★〕：良好な状態を維持する事業
- 〔 ★★★ 〕：概ね良好な状況である事業
- 〔　★★　〕：見直しを行う必要がある事業
- 〔　 ★　 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業

（２）事業所管課長による評価（今後の方向性）

現状維持

- ☐ ・拡充・充実
- ☑ ・現状維持
- ☐ ・見直し
- ☐ ・廃止

（３）事業所管課長の評価に関する説明

公共下水道の整備には限界があり、引き続きこの事務は継続することとなる。また、昭和５５年から収集運搬業務を民間委託により実施しており、今後も引き続き事務の効率化に努めていく。

１４ 成果向上及び効率性を高めるための方策

市民の汲み取り作業への理解を深めるために、委託業者への指導を十分に行う。

１５ 課題として認識されたこと

１６　二次評価

（１）局内評価会議による評価　（今後の方向性）

現状維持

- ☐ ・拡充・充実
- ☑ ・現状維持
- ☐ ・見直し
- ☐ ・廃止

（２）二次評価コメント